

【募集部門】

A. 写真部門／B. 映像部門／C. フォトストーリー部門／D. エッセイ部門

【趣旨】

- ①自然と人間生活が調和している里山の美しい光景や、歴史的な建造物、伝統的な祭礼、自然に溶け込んでいる大型のアート作品等を、ドローン空撮等の手法を含む新しい視点で撮影・表現することで、魅力を再発見する。
- ②ドローン空撮を軸に、人間の視点と鳥の視点、里山と都市、過去と現在、日常生活と芸術活動、様々な世代間の交流（ミックス）を図る。

【締切】

- A. 写真部門：2018年10月31日（第1期）／2018年12月31日（第2期）
B. 映像部門：2018年10月31日（第1期）／2018年12月31日（第2期）
C. フォトストーリー部門：2018年12月31日
D. エッセイ部門：2018年12月31日

【結果発表】

写真・映像部門：2018年11月中旬（第1期）／2019年3月下旬（第2期）
フォトストーリー・エッセイ部門：2019年3月下旬

【賞】 上位入賞者には、いちほらアートミックスや市原市ゆかりの記念品を贈呈いたします。

【募集内容】 上記の趣旨①、②に合致する作品を募集いたします。※撮影する地域・国は限定しない。

A. 写真部門：下記1)2)を満たす作品。

- 1) 機材は問わない。地上からの撮影・ドローン空撮ともに可
- 2) カラー写真・モノクロ写真ともに可

B. 映像部門：下記1)～4)全ての条件を満たす作品。

- 1) 3分以内(180秒以内)の作品。
- 2) ドローン映像作品として応募する場合は、作品時間の50%以上をドローンで撮影していること。
- 3) 著作権侵害を受ける映像または音楽を使用していないこと。
- 4) 関係各省庁・各機関の法令および安全ガイドラインを遵守して撮影していること。

C. フォトストーリー部門：下記1)2)両者を満たし、さらに3)4)5)いずれかの条件を満たす作品。

- 1) 写真枚数1枚以上4枚以内（写真部門の募集内容に順ずる）と文章または語句で構成されている。
- 2) 文章または語句の総文字数は800字以内で、ストーリー性を持つ作品（メモ、ポエム、ハッシュタグ等も可）。
- 3) 里山・SATOYAMAに関連した、心を動かすような美しい光景や印象的な瞬間（インスタグラム風など）。
- 4) 里山・SATOYAMAに関連した、文化芸術・歴史に思いを馳せる内容（紀行文・旅行記・観賞文風など）。
- 5) 里山・SATOYAMAに関連した、過去・現在・未来に思いを馳せる内容（思い出アルバム・活動記録風など）。

D. エッセイ部門：下記1)～3)を満たす作品。

- 1) 里山・SATOYAMAを題材としたエッセイで、総文字数1200字以内のもの。
- 2) 地域社会または国際社会の課題解決に資する内容を含む。
- 3) 里山保全・鳥獣害対策・農村地域の振興・地方創生・少子高齢化に関連する内容を含む。

【審査員】（50音順）

田口厚氏（ドローングラファ）、藻谷浩介氏（『里山資本主義』著者）、山崎エリナ氏（写真家）

※ほか里山・SATOYAMA に造詣が深い審査員（調整中）

【審査基準】

写真・動画部門：上記の趣旨①、②に合致し、高い芸術性がみとめられる。

フォトストーリー・エッセイ部門：上記の趣旨①、②に合致し、優れた文化的・社会的着眼点がみとめられる。

※公序良俗に反する表現を含む作品、不適切な手法を用いて制作したと推測される作品は審査の対象外とする。

※本コンテストの結果発表終了時点までに、他のコンテストに重複して応募している作品は審査の対象外とする。

※過去に開催されたコンテストで受賞歴がある作品は審査の対象外とする。

【応募資格】

※本コンテストの応募規約にご同意いただける方（別紙参照）。未成年の場合は保護者の承諾必要。

※プロ・アマは問わない。

※応募者またはグループあたり何作品でも応募可能。

写真部門・フォトストーリー部門・エッセイ部門：個人のみ

動画部門：個人またはグループ

【応募方法】

各部門とも、①エントリーシートの送付（別紙参照） ②作品の送付の2つが必須となります。

動画部門：YouTube に非公開設定にてアップロードの上、URL を添付してください。

写真・フォトストーリー・エッセイ部門：デジタルデータとしてメールに添付してご送付ください。

※各部門とも、郵送による提出は受け付けておりません。ただし、写真・フォトストーリー部門に関しては、ハッシュタグ（#里山ジャパン 2018）を付けて投稿していただくことでも、本コンテストへのご応募が可能です。

【参加費】

なし

【主催】

ぼっちドローンフェスティバル実行委員会（昨年のイベント公式ページ <http://agrifes.com/index.html> ）

【後援（調整中）】

地元企業、ドローン関連団体等

【助成】

本プロジェクトは、平成 30 年度市原市文化芸術振興助成事業補助金による一部助成を受けて実施する。

【問い合わせ先・応募先】

[satoyamacup\[\]gmail.com](mailto:satoyamacup[]gmail.com)

※[]を@に置き換えてご送付ください。

※メール送信の際は、件名に「問い合わせ」または「〇〇部門応募」とご明記ください。